

2023年3月発行

V o l 5

東和支部's コミュニケーション

T'S TALKS

- 巻頭言「印刷組合との出会い」
- ペーパーサミット
- USJグルメパーティー
- 多支部合同 ファミリーイベント
- 東和支部 新年互礼会
- 新会員紹介 4社



大阪府印刷工業組合 東和支部

目 次

巻頭言 / 印刷組合との出会い	五十嵐 貴俊	2
ペーパーサミット		4
	佐藤 陽子	5
	白石 陽一	7
	中井 洋	8
	福地 健	9
USJグルメパーティー	中原 秀記	10
多支部合同 エキスポ'70体験見学ツアー	木原 浩二	14
東和支部 役員忘年会	平石 哲生	16
東和支部 新年互例会	奥村 健士	18
新会員紹介	金光 雅志	20
	山崎 一也	21
	高橋 健太	22
	河越 イチエ	23
エッセイ / ○○○のいいところを100個書き出せますか？	平石 哲生	24
東和塾 「インボイス制度」の理解を深めるセミナー 案内		26
事業案内		27

印刷組合との出会い

副支部長 五十嵐 貴俊



今期、副支部長をさせて頂いております伸光洋紙の五十嵐と申します。今回、巻頭言にご指名頂きましたので、若輩者ではございますが私なりの印刷組合への思いをお話させて頂ければと思いました。

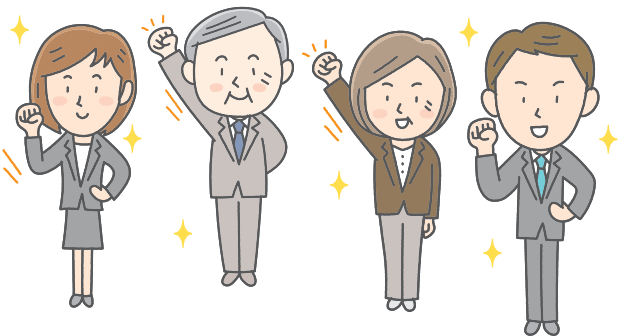
弊社伸光洋紙は、平成26年5月に東和支部賛助会員から本会員へと変更させて頂いて、それがきっかけで組合事業に参加させて頂くようになりました。私個人としては、久々の東和支部でした。私が30歳くらいの時に、関連会社の伸光クリエイトとして、東和支部の集まりに参加させて頂いた事がありました。当時、皆様に温かく迎えて頂いたのですが、皆様の勢いに圧倒され、まだ若かった事もあり入会には至りませんでした。それからまた、参加させて頂く機会を頂いた事は、何かのご縁を感じました。再び参加させて頂いた時も温かく迎えて頂き、すぐに溶け込めたように思います。そのきっかけになったのが、初めて参加させて頂いたイベントの二次会。北新地にあった日向路で、皆様代わる代わる声を掛けて頂き、非常に楽しかったのを今でも覚えています。

今まで同友会や経営者の勉強会など、いろいろな会に参加させて頂いて、それぞれその会の目的や目指されているところが違いますが、印刷組合に参加させて頂いて、本音で悩みを話せたり、会社の大小や年齢の垣根なく交流出来る会は、他にはありませんでした。

参加させて頂く前は、同業の会ではそこまで本音の話が出ないと思っておりましたが、東和支部に限らず本部でも、そのような事は一切なく、同業であるからこそわかる悩みを打ち明けたり、場合によっては仕事で繋がったり、私を感じていたような事とはまったくありませんでした。

組合に参加させて8年が経ち、東和支部の役員、副支部長、本部では常任理事と言う大役もさせて頂いて、個人的には様々な事を学ばせて頂きました。東和支部では、3支部合同イベントで幹事をさせて頂き、大勢の方が参加するイベントの運営や準備・進め方など、本部では大勢の方の前での司会や私より目上の方がいらっしゃる委員会をまとめるという経験。私にとっては、すべてが良い経験となりました。そして何より一番良かったのは、本音でいつもお話が出来る先輩方との出会いです。特に委員会やイベントなど一緒に苦楽を共にして頂いた方との関係は強くなり、本部の役を降りた今でも良いお付き合いをさせて頂いております。本部に行かせて頂いた頃は、悩み事も非常に多かったです。そんな時、東和支部のイベントに参加させて頂くとホッとするように思います。特に東和支部の役員の方々には、いろいろとアドバイスを頂き、役員会後の懇親会では、お酒を交わしながら楽しく話をさせて頂きました。その時、支部長が所信表明でおっしゃっていた「東和支部＝母なる港」をまさに感じた時でした。

今期、他支部間交流を担当させて頂いておりますが、私個人的には何も出来ておりません。来期こそ、貢献できるよう精いっぱい頑張りますので、引き続き宜しくお願い致します。





第2回ペーパーサミット運営サイドからの視界

東亜印刷株式会社 専務取締役 佐藤 陽子

1月14日(土)に第2回目となるペーパーサミットが開催された。ペーパーサミットとは、業界内外の方に向け「紙(印刷)」の魅力や楽しさを伝え、新たな発見や体験を提供することを目的としたイベントである。具体的にどんなイベントかというと、印刷会社とクリエイターがコラボしオリジナル商品を作り自社ブースで販売を行ったり、印刷や加工の技術を体験してもらうワークショップを開催したりしている。大阪府印刷工業組合主催のイベントであるが、運営は主に大印工の中の地域共生委員会で行っている。私は今回溝口社長(レスター工業株式会社)に声を掛けていただき、地域共生委員会の一員として運良く運営サイドを経験することができた。

まず、このイベントの準備として、8月に2日間わたって説明会を開催し、プレゼンを行い、マッチングの機会を設けた。そこからマッチングしたクリエイターと印刷会社がアイデアを出し合い、商品を創り上げていくのだ。我々印刷会社の弱みはゼロからアイデアを

1月18日に開催された「ペーパーサミット」は紙や印刷の可能性を業界内や一般の方々に向け広く周知するイベントである。「紙を愛する皆さま」に対して、「紙を愛する印刷会社」が「紙を愛するクリエイター」と共に、紙や印刷の持つ魅力や楽しさを伝え、新たな発見や体験を提供することを目的に開催されている。第2回となる今回は前回より会場の広さが「2倍」になり、昨年と同様クリエイターとのコラボで生まれた素敵な商品や、面白い紙雑貨の販売、紙や印刷で遊ぶワークショップを用意しており、とことん紙や印刷で楽しんでもらえるイベントとなった。

そしてこのペーパーサミットの運営は、溝口副支部長が地域活性化委員長として企画、開催された会でも多くの会社が運営や出展を行った。この展示会の内容を運営側、出展側それぞれから紹介を行っていく。



出して企画などを考えるゼロイチが弱いということが前提としてあり、その弱みをクリエイターさんの知恵を借り補う、クリエイターは作りたい仕様で商品が作れるという素晴らしい仕組みだと私は感じている。そのマッチングからそれぞれ打ち合わせや試作を重ね商品が出来、当日イベント会場に並ぶのだ。

昨年の来場者は800人であった。コロナ禍の厳しい状況の中、印刷会社が行うイベントにこれだけの人が集まり大成功を納めた。だが、今年は第2回目のため、前回は上回る運営のスムーズさと来場者数を求められる。今回から参加希望のクリエイターの方にも

運営に携わっていたいただき、様々な知識の共有や協力があつたからこそ、昨年よりもバージョンアップしたイベントが出来たのは間違いない。今回はシステムを使用した時間を区切って事前予約制にし、当日の受付での混雑も解消された。雨にも関わらず親子連れや文具女子も多くご来場いただきとても賑わい、会場には笑顔が溢れていた。来場者数は最終的には1180名になった。大成功である。

イベントを運営するといふなかなか印刷会社では経験出来ないことに参加出来たのは、これからも私の財産となるだろう。イベントが終わった後に仲間と飲むビールは最高に美味しかった。仲間と馴れ馴れしく言わせていただいたが、やはり普段の業務以外で誰かと何かを一緒にやり遂げることが久々な様な気がして、達成感が強くあつたのである。インスタでの私の投稿をきっかけに高校時代の友人が遊びに来てくれ、20年振りに会えたという嬉しいおまけもあった。(年齢がバレますが)

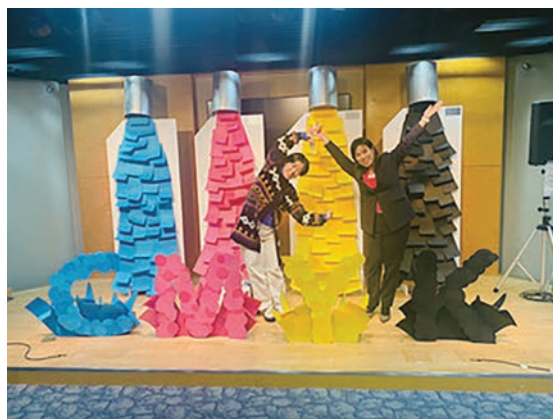
今回参加出来なかつた企業の方々も、是非来年はクリエイターとコラボし出展する機会を持っていただきたい。私が自信を持ってお勧め出来るイベントであることは確かだ。

ペーパーサミット儲かりバージョン

副支部長 白石 陽一

ペーパーサミット「は、「インサツを遊ぼう!」「印刷を超えよう!」「印刷の可能性は無限大!」をキーワードに、紙のワークシヨップや雑貨販売など、普段印刷と接点のない人に印刷の楽しさや面白さ、新しい可能性を広く知ってもらう参加型イベントです。

白石封筒工業(株)としては、去年のペーパーサミット2022に引き続き【ふくだあいこ】さん【今西香織】さんとコラボしました。春らしい色合いのトレーシングペーパーの封筒やスクエア封筒、文房具などをまとめたり、そのまま送ることもできるカラフルなフォルダ作成をしました。また社内で運営している『シライシデザイン部』の文具商品、トレーシングペーパー包装紙『CHOKKOTO : MINI LETTERSET My Stamp Collection』メッセージカード、トレーシングペーパーカレンダーなどの販売も行いました。多くの方にコラボ商品、自社製品を見て購入いただくことができBtoCの更なる可能性を感じることのできる1日でした。この経験があつて2023年2月8日〜2023



年2月14日に阪急川西の『かわにし文具マーケット』でも商品を販売することが出来ることになったのです。来年以降もペーパーサミットが続くのであれば是非今後も積極的に参加していきたいと思えます。また自社製品が無い、売るのが無いという会社さんこそ是非参加頂きたいと思えます。このペーパーサミットがきっかけで新たな課金ポイントの発見につながるのではないのでしょうか。



東和会青年クラブの展覧レポート

東和会青年クラブ 中井 洋

ペーパーサミット2023で、東和会青年クラブとして「T・BOX」という、紙製のティッシュボックスに「タブレットやスマホスタンド機能がついたもの」、「壁に引っ掛けられるもの」の2種類を作成し販売しました。

製作の過程で紙の選定からどのような機能が欲しいか、デザインはどうするなどメンバーで意見交換をし、実際に使う人の立場に立つて試行錯誤を繰り返してつくり上げました。



とは言うものの私自身は、「これは本当に売れるのだろうか?」と半信半疑の状態で当日を迎えました。いざ開場してみると「ティッシュボックスにスマホスタンドが備わっているのは面白い」というお声を多くいただき、販売の方も私の不安を払拭する数量をお買い上げいただきました。

今回のペーパーサミットで接客を体験してみて、お客様(消費者)は、私が思った以上に「色で商品を選ぶ」ということが学びのひとつでした。お客様(消費者)の使用シーンや思いを考えることはもちろんですが、そこに色をかけ合わせて、そのシーン、思いに合う色は何色か?という視点で商品開発することの重要性を学びました。商品開発をする上でお客様(消費者)が何を求めているかの視点の中に「色」という要素を加えて考えることが印刷という「色の専門家」である我々の使命だと感じた体験でした。



ペーパーサミットでの紙アプリ出展

リコージャパン株式会社 福地 健

ペーパーサミットの開催にあたって、リコージャパンからは「紙アプリ」を出展させていただく事となりました。「紙アプリ」とは、イベント向け新感覚のコミュニケーションツールです。描いた絵をスキャナで読み込むだけで、描いた絵が動き出すという感動を味わうことができるツールとなっています。形状や色使い等によって動き方が変わってくる為、どんな風に絵を描くかを試行錯誤しながらお絵かきを楽しむことができるようになっており、大人から子供まで楽しめるツールとなっています。



「紙アプリ」にはいくつかの種類があり、当日は、描いた絵が海の中でスイスイ泳いでいく「紙アクアリウム」、描いた絵が電車となって街中を走り回る「紙トレイン」、描いた絵が立体的な車となりレースを行う

「紙レーザー」の3種類を出展させて頂きました。すべての紙アプリで大人から子供まで楽しんで頂けました。特に子供には大人気で、何度も何度も絵を描きなおい紙レーザーで1位を取るまで描き続けた子もいたぐらいでした。

紙アプリはペーパーサミットのように多数のお客様が来場されるイベント向けには適した販促ツールとなっています。イベントへの集客、来場されたお客様の滞留時間の延ばすといった効果を出すことが可能となっています。お客様毎にカスタマイズを行うことも可能で、短期間でもご利用いただく事が可能なツールです。ご興味がある場合は、是非ご相談を頂きますようお願いいたします。



USJグルメパーティ

三役顧問 中原 秀記

去る令和4年11月23日、実に3年ぶりの実施となる東和支部グルメパーティをUSJにて開催する事ができた。

この日は毎日の食卓に感謝をしつつ、周りの人々と日々の頑張りをお互いに感謝する国民の祝日「勤労感謝の日」であり、我ながらいいセッティングが出来たと自負していたのだが朝から生憎の雨模様・・・

昼頃までは小雨がパラつく程度で何とか持ちそうなお配りではあるが、これも誰かの日頃の行いのせいかもと、思い当たる節も多々あるので妙に納得してUS



Jパーク内のパーティ会場へと向かう。

20数年前にも東和支部グルメパーティをUSJで開催したこともあり、当時は新米組合員の私も呑気に参加していたのだが、今回は立場が異なり実行委員長と言う事でもあるので少々気を遣う。

と言うのも会場の下見もできず料理のメニューしか分からない上に当初予定していたビュッフェスタイルでの食事提供も新型コロナウイルス感染症対策の為にビュッフェプレートでの各席への配膳に変更となっており、料理の質もさることながら食べ盛りの若い参加者も多かったので満足できるボリュームがあるだろうか、足らなくて暴動が起きないだろうかとの心配もあった。

パーティは12時スタートで予定しているが、アトラクションの都合も考慮して融通が利くよう時間厳守にはしていない。

会場に到着した方から順次お食事を摂ってもらい、頃合をみて乾杯などのセレモニーを行う。

8割方集まった頃合を見計らいここで平石支部長の挨拶となる。



普段の支部行事では至って真面目な挨拶をされるのだが、今回はUSJという場所がそうさせたのか小さな子供の参加者も多かったからなのか、何日も前から考えて練習して

きたであろう突然のハンカチマジック!!(笑) 場が和んだところで乾杯し、本格的にパーティースタートとなる。

心配していたお料理も十分なボリュームであった上、ご家族の発熱などにより急遽欠席者も出たため、余った料理を各テーブルに振る舞いお腹一杯で動けない状態の方も多数・・・

そしてパーティ後半は溝口副支部長のショータイムの始まり始まり。

予めパーク内のゲームでゲットしておいたミニオンの大きな縫いぐるみ争奪戦の開始となり、ジャンケン大会へと進む人も人数も多いので溝口さんと同じのを出した人が勝ち抜けていき、ある程度人数が絞れた時点でジャンケンで見事に五十嵐副支部長の娘さんが



大きなミニオンのゲットとなった。

食事後は時間の許すかぎり各自パーク内で遊べるよう順次解散の運びとなった。

我々スタッフもパーク内を皆で一緒に回り、いくつかのアトラクションにも乗ったのだが、雨が強くなり人気のジョーズやウォーターワールドなどが相次いでクローズとなっていました。

天気には恵まれなかったが、久々のイベント開催で盛り上がった楽しいひと時であった。

やっぱりリアル開催が一番。

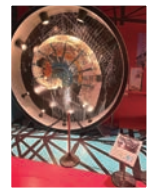
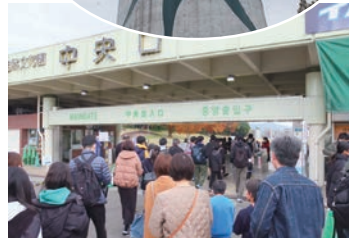
印刷組合、特に東和支部はこうでなくっちゃね!

USJグルメパーティ





太陽の塔 ▶
裏側



▲太陽の塔
内部



万博記念公園
Expo '70 Commemorative Park

多支部合同 ファミリーイベント

EXPO'70 体験見学ツアー



多支部合同 ファミリーイベント

2022年11月26日(土) EXPO'70 体験見学ツアーが開催された。

今回は、合同イベントをしている5支部(東和・生栄・摂陽・南親・八尾南)以外の方へも2025年大阪・関西万博を盛り上げるために、EXPOが初めての方、久しぶりの方も含め、大阪万博を知っていただくよう開催しました。

急な開催にもかかわらず、61名の方が参加されました。今回の企画内容からなのか組合行事への初参加の方が多数来ていただけたことは、運営する側としては本当に嬉しい限りでした。

イベントの内容としては、太陽の塔の内部見学やEXPO'70パビリオンの見学など見所のある充実した内容でした。また、万博に詳しい溝口副支部長から多くの資料提供と万博の素晴らしさを熱く語っていただきました。

見学の後は、『上の広場』で用意してお弁当を拵げてピクニック気分♪のんびりとした楽しい時間を過ごせました。その後は、クイズ大会が始まり、たくさん景品を用意していた事もあり、大いに盛り上がりました。

朝の曇った天気も帰る頃には快晴に変わり、心も晴れやかになりました。

最後は、ゴミを全て持ち帰り、みんな笑顔で解散となりました。

ご協力いただいた多くの方々に参加いただいた皆様に心から感謝いたします。

三役顧問 木原 浩二

役員忘年会は令和元年と2年はコロナ禍の影響で前代未聞の中止となり悔しい思いをしたが、昨年は丁度コロナの静まった頃で実施することが出来た。それに引き続き、令和4年も実施することが出来、場所はホテルニューオオタニの3階にある『花外楼』。昨年と同じ場所で、同じ窓からの景色に『また戻ってくるのが出来た』あれから1年経ったのだな』としみじみと感じた。ウィズコロナが徐々に定着し、この1年で実現



できた活動のことが1つ1つ思い出される。集まった皆さんの顔にも充実した気持ちを感じられる。1つのまさに歴史的な大変な時代を乗り切ってきたという気持ちと、こうして皆で集まり、まずは『お疲れ様』と交わす気持ちの表れか。

大半の役員15名が参加しての開催となった。

まずは役員会で、令和4年後半に実施した行事『USJグルメツアー』『多支部合同EXPO 70見学ツアー』の報告と、今年度年明け予定の行事『研修旅行』について担当の白石副支部長から熱の入った説明があった。



令和5年に向けて弾みがつく。溝口副委員長、白石副支部長の担当する本部行事のペーパーサミットについても、皆の気持ち盛り上がる。

ここからは会費制の役員忘年会に移る。作道顧問より、東京では立食でのパーティも積極的に行われているとのお話がある。大阪より先を行っている印象を受ける。また若手代表の青年部福地会長からの挨拶で更

に弾みがつく。

皆さん元気ですごいパワーを感じる。この仲の良さとかパワーで令和5年も会員の皆さんが参加して、いい仲間と集まりいい仲間づくりが出来るとイベントを、どんどん実現していこうと思わせてもらえる会となりました。最後に黒田顧問音頭の恒例生玉締めでお開きとした。

『ハロー注意報』——余談ですが——

大阪万博開催まであと2年余りとなりました。差し出がましいですが、折角の外国人が集まる地元開催ですし、来訪客に対して大阪人らしく話しかける機会



にしてはどうかと思います。

私は、日夜(大げさですね)中高生ラジオ基礎英語で、ゲストの鈴木福くんどちらが上達するか競っています。(やること小さいです 笑)



2020年から始まったこのコロナもついに5類に引き下げられると政府の方針が決定され、世の中の活動も活気を取り戻しつつある中、東和支部では1月27日にホテルニューオータニにて3年ぶり新年互礼会が開催された。

6時半からの開催だというのに30分前にはほとんどの方が集まっていた。今回は39名の会員が参加していたのだが、みんなこの日が待ち遠しかったのだろう。開始前から皆の笑顔と笑い声が絶えず会場は大変な賑わいをみせていた。

久しぶりにお会い出来た組合員の先輩方や、仲間たちが集い、青年クラブからも多数の参加があった。

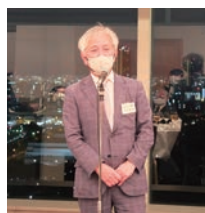


開会の挨拶では平石支部長が「コロナ禍あけましておめでとうございます!!」と力溢れる第一声から始まり、松本専務理事の来賓ご挨拶、作道顧問の乾杯の発声に

よつて宴会が始まった。

今回は感染対策を取っているものの、ほぼ通常と同じ形式で新年会が行われ、松本専務理事からお祝いに頂いた薩摩名産の焼酎が振る舞われ、ニューオータニの豪華な料理とお酒に舌鼓を打ちながら、みな大いに盛り上がっていた。

宴会の途中では、東和支部には今年から新たに株式会社ミームの高山崎社長、株式会社イプリコの高橋社長、そしてリバーコアの河越代表の3社の仲間が増えており、皆さんに今回の互礼会にて新組合員の紹介をさせて頂いた。また、初参加の方も多くいらつしやり、沢山の人のスピーチをして頂ける時間を設ける事ができた。



まだまだ大変な業界ではあるが、徐々に活動も元通りになってきており、東和支部においても、少しずつコロナを気にせず活動出来るようになってきた。支部に集まれば、日ごろの悩みも忘れ、吹き飛び皆笑顔が集まる。情報交換や交流が出来る癒しの場となっている。

東和支部はこれまでの歴史を作っていくてくださった年配の諸先輩方、現在この支部を盛り上げて活動している現役世代、そしてこれから中心になっていく将来を担う若手世代と幅広い世代の方々が集う支部である。これからもどんどん活発に活動を行っていき、仲間が集まり、喜んで頂ける支部にしていきたい。

新年互例会の中締めはもちろん東和支部恒例である黒田顧問による生玉締め。やっぱりこれがないと一年が始まりません!!皆さん令和5年度の東和支部もお楽しみに!!



新会員紹介

株式会社丸紀印刷

代表取締役社長 金光 雅志

シール印刷の楽しさを伝えたい!!



この度、レスター工業、溝口社長よりお声掛けいただき、東和支部に入会させていただきましたことになりました。株式会社丸紀印刷代表取締役金光雅志と申します。

当社は1970年の創業以来シール一筋のシール印刷会社です。

仕事が大好きで、仕事が趣味！といってもいいくらいなのですが、仕事以外の趣味ですと、ゴルフが好きで、アベレージ95くらいのいわゆるアベレージゴルフアーです。

また、一生懸命働く原動力としては、美味しいものを食べ美味いお酒を堪能することを motto としています。



株式会社ミーム

代表取締役社長 山崎 一也

株式会社ミームは、WEB・グラフィック制作を主な事業としております。

WEB部門では、コーポレートサイトを始め、ラウンディングページやキャンペーンページのWEBサイト制作、社内業務ツールなどのWEBシステム開発を行っております。

デザイン、HTMLコーディング、システム開発まで、すべて社内スタッフで内製化でき、ワンストップで対応可能です。

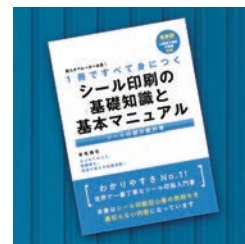
サーバー運用・運用支援も行っておりますので、WEBについてお困りのことがありましたらトータルでサポートします。いつでもご相談ください。

グラフィック部門は、ポスター・パンフレット・会社案内・チラシ・ロゴデザインなど、20年以上の経験と実績に基づいた高品質なグラフィックワークをお届けします。

宴会や飲み会はとても好きなので、皆さん是非お声掛けください♪

私自身、シール印刷という仕事が大好きで、この業界の魅力を若い世代につなげたいという、強い思いを持っています。

そんな思いから、2021年2月には、『シール印刷の基礎知識と基本マニュアル』というシール印刷の新人オペレーター向けの書籍も発刊させていただきました。



シール業界に入って25年以上過ぎましたが、シール印刷以外は、全くと言っていいほど無知で・・・

シール業界だけの知識では、井の中の蛙にならないと、日々不安を覚えていますでしたが、大阪府印刷工業組合東和支部に加盟させていただいたことで、新たなネットワークを構築させていただき、たくさん先輩の皆様から多くのことを学ばせていただき、自身の成長につながりたいと考えています。

シール印刷のことしか知らない未熟な私ですが、今後ともよろしくお願いいたします。

グループ会社であるマツモト株式会社と共に、お客様の課題解決に貢献します。



趣味は、ジョギングです。10年程前は、週末に走ることはあったのですがいつしか止めていました。しかしながら、コロナをきっかけにジョギングを再開しました。

平日は朝3km、週末は、5〜15km程度を走るようになっています。毎朝のジョギング後にシャワーを浴びると、まさに「整う」状態となり、気持ち良く仕事に取り掛かることができます。

マラソン大会には、決して出ようとは思いませんが、ハーフ、フルの距離を走れるようになればと日々楽しんでいきます。音楽と共に街並みを観ながら走るのが癒しです。




株式会社ミーム

新会員紹介

株式会社イプリコ

代表取締役社長 高橋 健太



皆様初めまして、株式会社イプリコの代表を務めております高橋と申します。

弊社では2011年創業で、当団体に所属されておられます皆様と比べると社歴も浅い会社でございますが、僭越ながらも自社の紹介をさせて頂きます。

弊社は中古印刷機器の輸出入及び買取販売を主業としております。取り扱い品目としては、全サイズの各メーカーオフセット印刷機、断裁機、紙折機、製本機、製函機、製袋機、トムソンなどの各種紙工機械、ラベル印刷機、スクリーン印刷機、枚葉輪転機、CTPと従来の印刷関連の機器を始め、オンデマンド印刷機、フォークリフトと印刷に関連するあらゆる機械を取り扱っております。買取の対象は北は北海道から南は沖縄まで全国のお客様から買取、及び無料査定をしており、時には海外工場の機械買い取りや、輸入も代行しております。輸出处荷拠点は苫小牧、千葉、横浜、大

阪、神戸、門司、博多と全国各地から海外へと送り出しております。

以前は日本国内で役目を終えた印刷機械の更なる活躍の場を提供する事が弊社の役割でしたが、現在は海外市場における高水準のニーズを満たすべく、国内外を問わないボーダーレスな取引を視野に活動を続けております。

手前味噌ではございますが、弊社は約40か国との取引を行っており、このネットワークを活用する事で他社との違いを生み出しているのではないかと考えます。さらには、このことが機械の高価買取、ひいては取引会社様の経営改善への一助に繋がると確信しております。

社名のIPRICOは造語で、「世界の印刷業界を豊かに」との想いがあり、

社是の「望外の喜びを提供する」を旨に団体會員の皆様にご貢献出来ればと存じます。何卒よろしくお願いたします。

趣味… キャンプ、ツーリング

特技… 資格取得(英検1級、世界遺産検定1級、

漢字検定準1級など)

リバーコア

代表 河越 イチエ



去年、某デザイン事務所から独立し、今年からフリーランスのデザイナーとしてリバーコアを立ち上げました河越イチエと申します。元々はパッケージのデザイナーをやっていましたが、後に転職し広告や販促のツールなどを作っていました。

現在も販促ツールやイベント告知など作ったりDMやロゴやイラストなどの制作を行っております。



趣味はお酒で特にワインや日本酒など、とんでもないお酒飲みです。飲むだけでなくお酒に合わせる料理、ペアリングなどを考えたりするのも得意です。釣りやゴルフにキャンプなども好きでおっさん体質などこ

ろがありますがこれからも仕事やプライベートも楽しみながら頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願致します。



〇〇〇のいろいろを100個書き出せますか？

支部長 平石 哲生

以前お世話になった社労士さんから教わった左記の文を、誠に勝手ながら引用紹介させてもらおう。子供に限らず、妻や社員にこれを書いて渡してみた経験がある(偶然に受けたセミナーの宿題だったので)。今までにない不思議な反応で喜んでくれた。当時高校生のぶっきらぼうな息子が「ありがとつ」と言ったのには驚いた。

《みなさんは、わが子のいいところを100個書き出せますか？》

こう言うと、「え〜ムリ、ムリ」という声が聞こえてきそうですね。でも、一度、ムリにでも100個書き出してみることをおすすめします。

そうすると、今まで見えなかったことがいろいろと見えてきます。私はこれを懇談会でやったことがありますが、とてもおもしろかったです。参加してくれた人たちも、最初は乗り気でありませんでした。最終的にはとても喜んでくれました。

やり方は、こうです。

まず、懇談会のはじめに、私は子どもをほめることの大切さを話しました。次に、「実際に子どもをほめられるように、子どものいいところを100個書き出してみましょう」と言いました。それに対する反応は、「え〜ムリ、ムリ」とか「10個もないよ」などという声がほとんどでした。でも、紙が配られたので、みんな一応書き始めました。この段階では、たとえば次のようなことが書かれていました。

『計算が速くできる』

『習字が上手』

『ピアノが好きでがんばって練習している』

『サッカーをがんばっている』

『自分で次の日の仕度ができる』

『宿題を忘れないでやれる』

『整理整頓がうまい』

『お茶碗を洗ってくれる』

『玄関掃除を続けている』



『妹に優しい』

見てお分かりのとおり、これらは、すべて、親にとっただけでほめやすいことばかりです。書き始めてしばらくして、これらのことが書き終わると、みんな書くスピードが遅くなります。この段階で、多い人で10個くらい、少ない人になると2、3個です。そこで、私は次のように言いました。「これらは、すべて、親であるみなさんが子どもに求める姿そのものですね。親の価値観に合っていて、親に都合がよくて、親にとっただけでほめやすいことばかりです。でも、子どものいいところって、本当にそれだけでしょうか？自分の価値観にとらわれないで、もっと子どもを多面的に見てみましょう。親の価値観に合っていないけれども、親にとっただけが悪いことでも、くだけなく見えても、実は子どもが生きていく上で力になりそうなことがもっといっぱいあるはずですよ。それらをすべて書き出してみましよう」

そうすると、次のようなことが書かれるようになりました。

『自分がイヤことは、親にもはっきりイヤと言え。』

(イヤとなったら、何でも動かない)』

『自分がやりたいことには、すこく熱中できる』

『お笑い芸人の真似がうまい』

『床どころか地面に落ちた物でも平気で食べるたくましさ。』

『あつかましいというか、いい意味ですうずうしい』

『犬みたいに疲れを知らない』

『よく笑う』

『背が高い』

『イヤなことは忘れる』

『甘えるのが上手』

『虫を捕まえるのがうまい』

『ほかの子と違うことをやりたがる』

これらは、たしかに親が求める姿ではないかもしれませんが、でも、実は子どもが生きていく上で力になることばかりです。そして、しばらくすると、また、書くことの見つからない人が多くなりました。100個書くのは、なかなかたいへんです。それで、また、私が次のようなことを言いました。

続きは次号に掲載します。



今後の事業案内

- 3月9日 東和東塾「インボイス制度」の理解を深めるセミナー
- 3月18日 大相撲観戦
- 4月23日 五支部交流合同 ゴルフコンペ
- 5月12日 東和支部 通常総会
- 7月頃 五支部合同 ネスタリゾート
- 8月頃 東和支部 グルメパーティー
- 9月頃 五支部合同 バスツアー
- 10月頃 東和支部 ゴルフコンペ



令和5年2月 吉日

大阪府印刷工業組合 東和支部 各位

大阪府印刷工業組合 東和支部
支 部 長 平石 哲生

創造交流会【東和塾】

「インボイス制度」の理解を深めるセミナー開催のご案内

平素より組合活動にご協力を頂き、誠に有難うございます。
創造交流会【東和塾】を下記の通り開催いたしますので、ご案内致します。今回の東和塾では、令和5年10月1日よりスタートする「インボイス制度」に向けて、皆さんの現時点での疑問点をクリアにするようなセミナーを実施いたします。既に準備は進められていることと思いますが、まだはっきりと分からないところもあり、この度、「大阪国税局 東税務署」より講師を派遣いただき、皆さんの質問に答える形式でセミナーを開催いたします。
出来るだけ皆さんから事前に質問を出していただき、それを講師の方に伝えてセミナー内で答えてもらうという形式です。準備している中での疑問や、「そもそも企業の消費税の仕組みが分からない」という基本的なことにも答えてまいります。
税務署講師の対応時間は1時間、残り30分は支部の経理職の役員が、更に参加者の皆さんと一緒にこの制度についての理解を深めます。限られたセミナー時間ですので、是非事前に聞きたいことを下記欄に記入、もしくはメールにて教えてください。
インボイス制度に関して理解を深めて頂く内容となっておりますので、経営者の方・経理ご担当者様を中心に、是非ご参加下さい。

記

- 日時: 令和5年3月9日(木) 17:30~19:00
- テーマ/内容: 「インボイス制度」の理解を深めるセミナー 参加費: 無料
- 開催方法: セミナー会場での現地参加 & オンライン開催
- 開催場所
(セミナー会場) リコージャパン株式会社 堺筋事業所8F 定員: 30名
※住所: 大阪府中央区久太郎町1-6-29 フォーキャスト堺筋本町 8F
※セミナー会場での開催後は、近場で懇親会も予定しております。
(オンライン参加) 定員: 100名 (参加方法は別途ご案内いたします。)
- 申込締め切り: 2月27日(月) ※「メール」または「FAX」にてお申込み下さい。

<メールでのお申込み> info@towashibu.org <FAXでのお申込み> 06-6264-5682

貴社名		
ご参加者 氏名	[氏名①]	[メールアドレス]
	[参加方法] <input type="checkbox"/> セミナー会場(懇親会: 参加 / 不参加) <input type="checkbox"/> オンライン参加	
	[氏名②]	[メールアドレス]
	[参加方法] <input type="checkbox"/> セミナー会場(懇親会: 参加 / 不参加) <input type="checkbox"/> オンライン参加	
インボイス制度に関するご質問・疑問をご記入下さい。(2/27までにご返信をお願いいたします。)		

ご寄稿のお願い

東和支部員の皆様へ

T's TALKsは、今後も年間2回のペースで発行する予定です。
内容は支部活動報告、そして様々な方からのエッセイという
構成です。

皆様からの楽しいエッセイをお待ちしております。経営者の
方から若手の方まで、是非ご寄稿ください。

次回号は、2023年6月頃に発行の予定です。

寄稿は随時受け付けております。

ご希望の方は、東和支部事務局まで電話・FAXもしくはメール
にてお知らせください。

電話：06-6264-5681

メール：info@towashibu.org

申し込まれた方に、記入用のフォーマットをメールもしくは
ファックスにてお送りいたします。